

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）						対象年度		令和5年度		
事業番号	24	事業名	生涯学習推進事業 (大事業名) 生涯学習推進事業			担当課		生涯学習課		
						予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-1-1 生涯学習推進事業		
						決算書ページ		225 ~ 一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	1 「やってみたい」でつながるまち		事業開始の背景	社会教育法に基づき社会教育を奨励するため、学習意欲を気軽に持つきっかけとなる公民館講座や市民が互いに学び合うことができるながくて・学び・アイ講座を開講している。			
		政策	2	「やってみたい」が実現できる仕組みづくり						
		施策	(3)	誰もが活躍できる地域づくり						
	その他	開始年度								
		終了予定年度		☐ 年度 ☒ 未定						
		根拠法令等		社会教育法						
	関連計画		第2次長久手市生涯学習基本構想							
	アウトプット（詳細はⅡへ）						アウトカム（詳細はⅢへ）			
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)			②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)			③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
	【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 地域人材の育成、地域での学び合い、仲間づくり・居場所づくりのきっかけとして、市が公民館講座をとおして豊かな学習機会を提供し、市民が学習意欲を高めたり、生きがいを感じたりできるような状態にするため、公民館講座の開講、講座終了後の学習活動の支援等を行う。			...▶ 【アクションプラン指標】 公民館講座開講数【単年】 【その他の指標】 講座終了後も個人の学習活動の継続が継続され、自立した活動（育成サークル等）が立ち上がる。			▶ 高い満足度を維持することで、市民の学習意欲が満たされる。また、講座から発生した自立した活動（育成サークル等）に参加することにより、市民が居場所や生きがいを見つける。 (成果指標名) 全講座アンケートの平均満足度		▶ 大 事 業 共 通 自立した活動（育成サークル等）に参加した市民が、活動を継続し、やがて地域人材となり、地域での学び合いに貢献する。 また、仲間づくり・居場所づくりが、市民主体のまちづくりへと発展する。	

[illegible]

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標									
		全講座アンケートの平均満足度	%	R3 年度		R4 年度		【現状】 R5 年度		R6 年度		R7 年度	
				84.9		86.2		85.9		80.0		80.0	
		成果達成状況					指標目標値の根拠						
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					満足度は、受講生の学習意欲を満たした指標であり、満足感を得ることで、今後の自主的な継続学習や生きがいにつながっていくため。					
	評価の理由、分析												
	アンケートから												
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由									
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		合併を生かして一体的に実施することでマンパワーを節約していく								
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容						見直し可能年度				
1		【改善】 生涯学習講座 ・囲碁講座 ・史跡巡り	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	囲碁(羽根先生)と郷土史研究会は地元活動団体であるため講座の開催をつづけている。すでに本数を大幅に削減しているため、現在の2講座を継続するが、団体による主体的な運営を促し、事務量の削減に務める。									
2	【改善】 学びアイ講座	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	市民の講師から提案される講座は、特定の講師が継続申し込みしたり、ヨガやフラダンスなどジャンルが偏るため、今後学びアイ講座は、1 DAY講座にして、スリム化することで事務量の大幅な削減を期待できるため、改変を行っていきたい。										
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	年度の費用（ 年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)	R6年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度				
		A	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算			
			C. 縮小 D. 廃止			784	751	306	751	410			
		理由			特定財源	合計額	276	276		276	205		
		講座を削減したため、今後講座を増やす拡充は行わない。 多くの事務負担と人件費を必要とする、「学びアイ講座」は目的に沿ったスリム化を行い、講座が目的を果たせるように改変しながら、業務負担も軽減する。				(内 国費)							
						(内 県費)							
						(内 諸収入)	276	276		276	205		
						(内 その他)							
		積算額			一般財源		508	475	306	475	205		
					年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（ 予算額）> 公民館講座講師料 744千円（744千円） 食糧費 7千円（7千円） 印刷製本費 33千円（0千円）								